

故郷 中能登町にモニュメントを設置

氏名：百海 善市郎 職業：百寶堂（株） 都道府県：京都府

送っていただく観光特使のパンフを役立てております。

常々お会いする方々に小生自身中能登出身の為名刺を渡して居る次第で、大変喜ばれております。



のと里山海道のステッカーを車の後ろにつけて居りますと良く聞かれますので嬉しい限りです。



4月5日、中能登中学開校式の関連で校庭に小生の彫刻「生命（いのち）」を設置することが出来、観光のひと役に立てるチャンスとっております。

又、金沢の友禅染めと京都の友禅染めをドッキングする動きをしております。実現すれば何らかの観光の一役にと活動いたして居ります。

平成25年4月発行「広報なかのと」より

↓ ↓ ↓
[広報なかのと.pdf](#)  



中能登町の宝物



いのち 生命のモニュメント

今 今年4月に開校した中能登中学校の校舎前で存在感を放つモニュメント。新庄出身の芸術家である百海善市郎さんが制作した作品です。

夢を追い続ける生徒たちを応援するために、昨年6月、町が百海さんに制作を打診。今年3月に完成しました。作品名は「生命」。上から押さえつけられても力強く成長していく姿が表現されています。「のびのびした人材に育ってほしい」との百海さんの願いが込められており、どんな苦難にも立ち向かおうとする、たくましさ伝わってきます。

28歳の若さで独立した百海さんは「決して順風満帆な人生ではなかった」といいます。自分の選んだ道を信じて努力し、困難を何度も乗り越えてきました。「思いは力なり。念ずれば達せられる」。思いを力として夢を実現させてきた百海さんのメッセージは、中能登中の生徒たちに受け継がれていくことでしょう。

編集後記

今年度から広葉の担当になりました赤鳥です。みなさまに読んでも、わかりやすい記事となるように心掛けて頑張ります。

(情報推進課 赤鳥 明) 38号(2020年1月)から担当し、はや3年。先月号までの運営の担当を担わせていただきました。人に出会い、悔り多く季節を感じる中で、いろいろな感覚を少しは吸収できたかと思えます。自分を育ててくれた広葉に、支えてくださったすべての人たちに最上級の感謝を込めて、パンを噛みます。皆さん、お世話になりました。本当にありがとうございました。(住民福祉課 水田 淳也)

Proud!
Japan

東北関東大震災の復興を支援しよう